

ざいぎょうかい しんぶん がまぐ ひと いっしょ よ くだ
* 堺教会CS新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2019年3月号
日本基督教団堺教会
No. 484 教会学校

「ぶどう園のたとえ」

るか ぶくいんしょ しょう せつ せつ
ルカによる福音書20章9節～19節



いえす ばなし
イエスさまはあるたとえ話をされました。

ところ えん つく ひと ひと なが たび い のうふ
ある所にぶどう園を作った人がいました。その人は長い旅へ行くことになったので、農夫を

やと か つく でき おく
雇い代わりにぶどうを作ってもらうことにしました。ぶどうが出来たところにぶどうを送ってもらおう

いっこう とど しかた さんにん ひと おく さんにん
としたら、一向にぶどうは届きません。仕方がないので三人も人を送ったのですが、三人とも

ぼうりよく う い お かえ
暴力を受けたり、ひどいことを言われたりして、追い返されてしまいました。

こま は えん も ぬし さいご かわい じぶん むすこ い
困り果ててしまったぶどう園の持ち主は、最後にとても可愛がっている自分の息子に行っても

じぶん むすこ いま ひと お かえ たいせつ
らうことにしました。自分の息子だと今までの人のように追い返されずに大切にしてくれるだろう

かんが のうふ き むすこ み ころ むすこ
と考えたからです。しかし農夫たちはやって来た息子を見て「あいつを殺してしまえば、いずれ息子

もの えん じぶん もの い はたけ そと つ い ころ
の物になるこのぶどう園を自分たちの物にできる。」と言って畑の外へ連れて行き殺してしまいました。

はなし いえす なに つた えん いま
このお話からイエスさまはみんなに何を伝えたかったのでしょうか？このぶどう園を今みんなが

す せかい かんが えん も ぬし せかい つく かみ
住んでいる世界だと考えてみてください。すると、ぶどう園の持ち主とはこの世界を創った神さま

のうふ かみ つく せかい せいかつ わたし ふく せかいじゅう ひと こと
となり、農夫は神さまが創ったこの世界で生活をしている私たちを含めた世界中の人たちの事とな

かみ たいせつ こ いえす かみ わす ひと ころ
るのです。神さまの大切な子どもであるイエスさまが、神さまのことを忘れた人たちによって殺され

はなし
てしまうというお話だったので。

えん はなし あが ところ わ たいせつ むすこ む のうふ
ぶどう園のお話では危ない所だと分かっている、大切な息子を向かわせました。農夫たちも

たいせつ ひと えん も ぬし かんが わたし おな かみ
大切な人であると、ぶどう園の持ち主も考えていたからです。私たちもそれと同じように神さまに

あい くだ わす
愛され、イエスさまをつかわれて下さったことを忘れてはいけません。

はなし ついのともや
お話…辻野智也